伯友

No.82 2023

·HAKUYUKAI·HAKUYUKAI·HAKUYUKAI·

巻　頭　言

·HAKUYUKAI·HAKUYUKAI·HAKUYUKAI·

「委員会活動」

伯友会副会長
36期　**三千敏弘**

六甲伯友会会員の皆さま、3年前のコロナ禍での書面開催による総会において副会長を拝命致しました36期の三千敏弘と申します。現在の伯友会には会長の下、6名の副会長がいます。その中で4名の副会長が担当の委員会を受け持っており、私は会員委員会を担当させて頂いております。

会員委員会と申しましても伯友会においてどのようなか活動を行っているのかピンと来ない方が多いかと思いますので簡単に説明させて頂きますと、当委員会は会員情報の取得維持管理・名簿の作成及び会員間の親睦事業（総会懇親会・支部活動など）支援を主に担当する部門です。この3年間は特に親睦事業関係において新型コロナウィルス感染拡大の影響により、中々思うような活動ができませんでしたが、ようやく元の状態が期待できる段階まで戻って来つつあります。伯友会本来の目的である会員同士の親睦を深めることができるよう今まで以上に努めて参りたいと思いますので、会員の皆さまにおかれましてはご協力のほど、宜しくお願い申しあげます。

さて、委員会のもう一つの柱である会員の名簿作りは、かつては予算規模も作成にかける労力も伯友会活動の中心を占める事業でした。私が伯友会の委員会活動に参加した頃は、一部の方にはメールが普及していたものの通信手段の多くは電話と手紙であり、会員名簿無くては会員同士の交流もままならない時代でした。作成前に各期幹事が集まって自身の期の名簿情報を精査し、作成費用も終身会費の大半を占める3年に1回の大事業だったように思います。平成17年に施行された個人情報保護法により、六甲学院とどのように卒業生の個人情報を共有するか協議を重ね、会のプラバシーポリシーを策定し、名簿に個人情報をどのように掲載するかでは会員の皆さまからも様々なご意見を頂き試行錯誤が続きました。会の将来的な財政を圧迫するリスクのある名簿作成費用を、どのように解決するかも大きな課題でした。近年はSNS等の発達により、相対的に名簿の利用価値が下がって来る中で、3年前の名簿発行では、初めて必要な方に名簿を有料で販売する方式を採用しました。これにより名簿作成事業は会の財政を圧迫するような事態は無くなりました。そうなると新たな課題が生まれます。終身会費として卒業生から集めた会費を名簿制作に殆ど投入する必要の無くなった今、そのお金を何に使うのか。これは会員委員会の分掌を超えた課題であり、常任幹事会や幹事会での今後の議論の推移を見ていきたいと思います。

今回、巻頭言を書かせて頂くに当たり何について書けば良いか当初悩みましたが、昨年末の常任幹事会で、伯友会の委員会活動はどのような活動を行なっているのか会員に広く知られていないのではないかとのご指摘を思い出し、自身の担当している委員会の活動をテーマにして書くことにしました。上手く説明出来たかは誠に心許ないですが、会員の皆さまには私共の活動を少しでも知って頂き、様々なご指導・ご鞭撻を頂ければ幸いです。

2023年度六甲伯友会総会招集告知

右の要領で2023年度六甲伯友会総会を開催いたします。

総会では決算、予算案の承認など重要な案件が審議されます。

会員諸兄におかれましては是非とも総会に参加して六甲伯友会の運営に積極的に関わっていただけるようお願いします。

六甲伯友会 会長　藤本久俊

開催日　2023年4月23日（日曜日）
開　会　午後1時（受付は午後0時半から）
場　所　六甲学院5階合併教室
主な議題　・2022年度事業報告
・2022年度決算報告
・2023年度事業計画
・2023年度予算
・その他

委員会だより

■総務委員会

総務委員会では、幹事会・常任幹事会の運営、総会の開催などを担っております。生徒研修所が依然として人数制限があるため、2022 年度も幹事会はリモート開催にせざるをえませんでした。常任幹事会は人数が少ないため会場とリモートのハイブリッド開催にしております。生徒研修所の人数制限が緩和されれば、幹事会もハイブリッド形式にする予定です。

また、2023 年度は役員改選の時期で、現在準備をすすめております。

■会員委員会

まずは 2022 年度の伯友会総会・懇親会を 3 年ぶりにリアルで開催できたことにほっとしています。アルコール抜きの開催ではありましたが、久々にお互いに顔を合わせて話せる喜びを集まられた方々から感じることができました。神戸、東京会場とも大いに盛り上がったと思います。

55 期が幹事となる 2023 年度は 50 期の「六甲大祭り」以来、久しぶりの学校開催となります。委員会として精いっぱいサポート致します。また伯友会ジュニアもようやく開催できるようになり、今期は多くの方々の参加をお待ちしております。

■情報委員会

伯友会名義の Zoom アカウントのほか、生徒研修所でのリモート会議の態勢を整え、伯友会関係の各種会合にて活用しています。今後、さらなる環境の充実を図るのと同時に、コロナ禍がひと段落する兆しを見せるなか、今後の会合のあり方をどうするかは、これからの議論になります。

また、同窓会などに活用していただくため会員への Zoom アカウントの貸し出しを再開しています。ご希望の方は伯友会事務局にお尋ねください。（TEL078-861-6588　E-mail：office@hakuyu.jp）

■事業委員会

・OB 講演会について

2022 年 10 月、全校生徒向けに、東京大学法学部 五百旗頭薫教授 /49 期による講演会を実施しました。主なテーマは「歴史を学ぶ・活かす・伝える」。

・OB 企業訪問実施

2022 年 8 月、高 1（82 期）が、OB 企業訪問をさせて頂きました。神戸：アイクラフト ・川崎重工業。大阪：パナソニック、北浜法律事務所、関西電力。東京：東大法学部、国土交通省、dip。

・イエズス会姉妹校交流について

2022 年 12 月、東京にて第 38 回 JJHAF が開催され、各校 OB 会の会長を中心に交流が行われました。次回は、広島での実施を予定しております。今後も OB の方々のお力添え頂き、在校生の方々の知見と視野を広げたいと思っております。

音楽部の定期演奏会のご案内

今年も音楽部の定期演奏会を開催する運びとなりました。中 1 も大勢入部し、賑やかに活動をしています。演奏会では今年も OB にお手伝いをいただき、盛大に開催するべく準備を進めております。

このような状況下ではありますが、万障お繰り合わせの上、是非とも足をお運びいただけますと幸甚に存じます。

また、音楽部 OB の皆様へ案内はがきをお送りするのは今年度で最後とさせていただきます。来年度からはこのような会報誌や HP での案内となります。ご了承ください。

中村駿介（六甲学院音楽部顧問）記

日　時：2023 年 3 月 24 日（金）17：30 開場 18：00 開演
場　所：東灘区文化センター　うはらホール
入場料：500 円（全席自由）
連絡先：rokkomusick@gmail.com

2023 年度 伯友会総会・懇親会幹事期からのご挨拶

本年は 55 期が幹事を務めさせていただきます。2023 年 4 月 23 日（日）に六甲学院にて実施させていただくこととなりました。

総会・懇親会は、六甲卒業生が一同に介する貴重な機会です。久しぶりに同級生と再会し、お互いの近況やこれまでの人生について語り合ったり、また世代を超えて卒業生の方々との交流を深め、新たな刺激を得ていただければと思います。

本年は 5 年ぶりに母校での開催となり、新校舎合併教室で平成塾、総会を行うと共に、懇親会では場所を講堂にうつして、皆様に楽しい時間を過ごしていただくため、体育祭をテーマに、来場者と一体感と共に交流いただける催しを企画しております。

55 期幹事一同、心を込めて準備をしております。ぜひ、伯友会総会・懇親会にご参加いただき、素晴らしい思い出を共有していただければ幸いです。

お忙しい中と思いますが、ご参加をご検討いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

幹事代表 55 期 戸田武志

第15回六甲伯友会OB講演会

『歴史を学ぶ・活かす・伝える』

六甲学院教諭　山　岸　禎　一（40 期）

2022 年 10 月 3 日（月）、第 15 回 OB 講演会を東京大学大学院法学政治学研究科教授の五百旗頭薫氏（49 期）を講師に開催されました。

『歴史を学ぶ・活かす・伝える』と題された今回の講演では、まず歴史家の道を選んだ理由が述べられました。在学中、運動部で十分に力を発揮できず、退部したことから自分の「弱さ」を感じ、同じ間違いを繰り返す人間の「弱さ」に興味をもち、人間の営みを研究する歴史学に関心が向いたそうです。

五百旗頭さんにとって幸いだったのは、米ソ冷戦が終結し、互いに絶対的正義を主張し合うイデオロギー対立の時代が終焉を迎えたことでした。当時観ていたアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」は、絶対善や絶対悪を描かない、まさに冷戦後の世界を反映した作品でした。この作品にも励まされて、五百旗頭さんは研究を進めることができたそうです。

講演の後半は、現代政治に話題が及びました。KADOKAWA 社から『学習漫画日本の歴史第 16 巻』の監修依頼が舞い込み、その編集作業が大詰めの 2022 年 7 月、安倍元首相が暗殺されます。この事件により、第 16 巻のカバーすべき時期は 2022 年参院選まで延長され、編集スケジュールは非常にタイトなものになりました。最終ページの構成をめぐり、編集部と真剣な対話を繰り返したとのことです。なお講演後の 10 月 13 日に第 16 巻は無事刊行とのこと、お疲れ様でした。

五百旗頭さんは生徒の質問に「いい質問ですね」「本質を衝いた問いですね」と当意即妙な答えを返し、「六甲生は優秀で活気がある」と、喜んでくださいました。穏やかな中に芯の通ったお話しぶりが、生徒の反応を引き出したのでしょう。

五百旗頭薫さん、サポートくださった委員長岡本剣さんをはじめ伯友会の皆様に、心より御礼申し上げます。

訃　報

27 期の映画監督大森一樹氏が 2022 年 11 月に亡くなられました。同期である南浮泰造氏が追悼文を寄せて頂きましたが、長文のためこの春号ではその一部を掲載致します。全文及び思い出の写真は今年秋号に掲載致します。秋号は伯友会会費を納めて頂いている会員で、会誌を希望される方にのみお送りしておりますので、登録されていいない方は伯友会事務局迄ご連絡下さい。また、大森氏と思い出の投稿も併せてお待ちしております。

「大森　一樹君のこと」

南浮（なんぶ）泰造（27 期）

映画監督の大森一樹君が昨年（2022 年）11 月に亡くなった。一昨年秋に「しんどい..」と言って受けた検査で思いもかけず急性骨髄性白血病と判明、以後抗癌剤治療、更には臍帯血幹細胞移植にも臨んだが最終的には GVHD（移植片対宿主病）が出て帰らぬ人となった。余りの若さに今だに気持ちが整理できないままでいる。

その大森君だが、実は私自身は六甲在校時代の付き合いは少なかった。というか、高校から六甲に編入してきた大森君は、私からはなんとも窮屈に過ごしているように見えた。そりゃそうだろう。普通に公立中学を過ごしてきた者がいきなり授業前に瞑目し、午前中には上半身裸での中間体操、放課後はまた裸で便所掃除の生活に戸惑うのは当然だろう。私の後ろの席の大森君が、朝登校してきてはパンツ一丁になってトレパンに着替えながら「こんなんおかしいやろ」とぼやいていたのを覚えている。授業で先生に当てられて立った後、例の机と一緒になった椅子にごそごそと大きな体を潜りこませる姿も窮屈そうだった。

〈中　　略〉

78 年に私達と映画「夏子と、長いお別れ」を撮ったのを最後に本格的に商業映画監督として羽ばたいていった。2011 年ぐらいまでは毎年、映画やテレビドラマを撮り続け、1986 年、1996 年には日本アカデミーの優秀監督賞を受賞するまでになると共に、合わせて大学にて後進の指導、育成に注力していった。多忙、多彩な人生だったし、まさに好きな映画一筋に生きてきたんだなと痛感する。

2012 年関西テレビで著名人が自分の心のふるさとをめぐる「ノスタルジア（ココロの旅）」という番組に大森君と一緒に出演した。大森君が選んだ場所の一つは勿論六甲学院だった。私にはなんだか窮屈そうには見えていたが、彼にとって六甲学院は自分を育んだ大事な場所になっていたんだと知り安堵した。

今は思いもかけず向こうの世界に行ってしまったが、違う形で存分に映画を楽しみ、映画で遊んでいるんだろうと思っている。次に再会した折には、また映画の続きの話をしたいと思う。

大森君、お元気で！

○

会員だより

28 期 杜（ゆずりは） 隆史さんが「磐瀬賞」を受賞されました

日本蝶類学会の栄誉ある賞「磐瀬賞」を杜さんが受賞され、2022 年 12 月 10 日に東京大学理学部講堂で開催された「2022 年度総会大会」で表彰後に記念講演をされました。

この「磐瀬賞」は、蝶類研究そして出版を含めて顕著な業績を残された人に与えられるものとして 1992 年に日本蝶類学会で制定されました。他に「江崎賞」「林賞」があり、日本蝶類学会三賞となっています。

杜さんは生物部の OB で、在学当時から伯母野山周辺の蝶相を解明され、神戸大学に進学後は北海道から沖縄、そして台湾にまで何度も遠征されました。就職後も精力的に活動され、1998 年には（有）エヌ・アール・シーを設立、企業や自治体での研修講師を務める傍ら、「蝶と虫を楽しむ」季刊誌「ゆずりは」と情報誌「月刊ゆずりはクラブ」を創刊し、それぞれ 25 年目になります。多忙な研修講師の仕事の合間を縫って、現在も日本各地で蝶類の調査研究をしながら、20 年以上続いている「今森光彦昆虫教室」「全国こども昆虫キャンプ」や、地元神戸の「あいな里山チョウの会」と「須磨離宮チョウの会」の協力を通じて、次世代への「昆虫少年少女」の育成活動もしておられます。

「季刊ゆずりは」「月刊ゆずりはクラブ」は近々母校の図書館に寄贈予定とのことですが、興味のある方は直接杜さんにお問い合わせください。（yuz.310@joy.ocn.ne.jp）

（文責：32 期　近藤　健）

会員の皆様へ

■会誌「伯友」秋号の発送について

伯友会の会誌「伯友」春号は会員全員に、秋号は会費納入者の中で秋号の送付を希望される方と、六甲学院を卒業後 4 年間に該当する方全員に送付いたします。

広報委員会では、情報提供をホームページ等を通じて会員サービスの向上をはかっております。（[WEB] www.hakuyu.jp、[ツイッター] @rokko_hakuyu）ご意見・ご質問・ご要望等ございましたら、事務局までご連絡ください。

なお、秋号の送付を希望される方は、事務局までお申し出ください。

■会費納入のお願い

会員には会費の納入義務があります。会費は伯友会にとって重要な収入であり、伯友会運営にとって貴重な財源です。未納の方は是非とも納入して下さい。

〒 657 − 0068
兵庫県神戸市灘区篠原北町 1 − 8 − 25
伯友　太郎　様
（○○−○○−○○）

期　学年での番号　会費納入状況

宛名ラベルの見方：あなたの会費が何年度分まで納められているかは、宛名ラベルに記載されています。もしあなたが終身会員であれば、会費納入状況は『終身』となっています。

2023 年度分まで納入済みの方は『2023』となっています。また、会費納入実績が無い場合は記載がありません。

年 会 費：伯友会年会費は 3,000 円です。会費未納期間が 3 年以上ある場合は、2 年前に遡り本年度分を含めて 3 年分納入いただきます。

終身会費：終身会費は 45,000 円です。既に 6 割の会員が終身会員になっています。終身会員になると年会費の納入の必要がなく、毎年会費を納入する煩わしさもなくなります。また、過去の未払いの年会費を遡って徴収することもありませんので、終身会員になられることをお勧めしています。なお、今年度以降の会費を納入済みの方にはその分を 45,000 円から差し引かせていただきます。

■伯友基金について

伯友基金は六甲学院の教育活動と社会奉仕活動のために使用する目的で 1993 年に設立された基金です。第 3 運動場のナイター照明や高校教室のプロジェクター設備なども、この基金を活用して設けられました。また、基金の一部から、東ティモール聖イグナチオ学校奨学金プログラムへの協力も行っております。

本年は 2 件 100,000 円のご寄付をいただきました。寄付者の方々に御礼申し上げます。

寄付者名（敬称略、匿名希望者を除く）
52 期 佐藤太一

■伯友奨学基金にご協力を

六甲学院からの要請を受けて「伯友奨学基金」を設立しております。

昨今、学費に困窮する学生が増え、大学生の二人に一人が約 300 万円の負債を追って社会に出るのが日本の現状となっています。また、長引くコロナ禍により、収入の道を閉ざされた人たちも増えております。

六甲学院も決して例外ではなく、奨学金を必要とする学生が年々増加しております。“家庭の経済的理由で六甲を去らねばならない後輩を一人も出したくない”という思いで設立された奨学基金です。

年間約 50 万円の授業料相当分を一人もしくは二人に毎年給付していくことを目標としており、これからも継続的な積み立てが必要です。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

本年は 11 件 528,200 円のご寄付をいただきました。寄付者の方々に御礼申し上げます。

寄付者（敬称略、匿名希望者を除く）
11 期 伊藤博通、15 期 北村恒紀・田嶋紀雄、24 期 加藤孝雄、38 期 田渕信也、52 期 佐藤太一、72 期 坂詰　怜

ご寄付いただいた額の領収書を発行することは可能ですが、六甲伯友会は学校法人ではないため寄付金控除の対象になっておりません。ご了承ください。領収書が必要な場合は事務局までご連絡ください。

■伯友会事務局からのお知らせ

伯友会事務局の執務時間は、年末年始とお盆の頃を除く、（原則的に）月・水・金曜日の P.M.1:00〜P.M.5:00 です。ご用の内容に依り即答できず、お時間をいただく場合もありますが、必ずご返答いたしますので、ご遠慮なくご連絡ください。

10 期生の皆様は同期会開催後の残金を、次回の開催金にされていましたが、高齢となり同期会の開催を止めることとし、残金を寄付いただきました。
12 期生は同期生の為の基金を創設していますが、その中から伯友会の為に寄付 2 回をいただきました。
両期の皆様に感謝申し上げます。

伯友会会費の納入は
●三井住友銀行六甲支店（421）
口座番号（普通）1103520　口座名　六甲伯友会
●郵便振替
口座番号 01110 − 8 − 73016　口座名　六甲伯友会

伯友基金への振込は
●三井住友銀行六甲支店（421）
口座番号（普通）3692900　口座名　伯友基金

伯友奨学基金への振込は
●三井住友銀行六甲支店（421）
口座番号（普通）4513835　口座名　六甲伯友会奨学金
※ご入金の際には事前に期・名前を事務局までお知らせください。
※寄付者のお名前は会誌の春号に掲載されます。匿名希望のかたは併せてお知らせください。

伯友 82 号
発行日　2023 年 3 月 15 日
発行人　藤本久俊
編　集　広報委員会
印　刷　㈱学術出版印刷
校　正　久井千岳

伯友会事務局
〒 657-0068
神戸市灘区篠原北町 1 丁目 8 番 25 号
六甲学院生徒研修所内
TEL.078-861-6588　FAX.078-861-6573
E-mail　office@hakuyu.jp